

第9回

朝鮮人・中国人 強制連行・強制労働 を考える全国交流集会 in 金沢



尹奉吉義士、上海義挙60周年に際して
1992年に韓国で発行された記念切手



(日の目を見る強制連行の事実)
(地下軍需工場跡の洞穴群) →

1998年8月8日～9日
会場 石川県教育会館

主催 第9回 朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える
全国交流集会 石川実行委員会

集会日程

第1日 8月8日(土)

12:30 開会

故 朴慶植先生 追悼メッセージ
開会挨拶

13:00 各地からの報告 I

14:15 記念講演

15:00 演劇

16:00 各地からの報告 II

17:15 分科会 I

18:15 夕食・交流会

第2日 8月9日(日)

9:00 分科会 II

11:00 分科会報告

次期開催地挨拶

閉会挨拶

分科会

第1分科会『入門講座』—強制連行とは—

第2分科会『教育実践』

—歴史教育の広がりと深化のために—

第3分科会『調査・保存』

—史跡保存の現状と問題点—

第4分科会『戦争責任・戦後補償』

—現在進行形の問題として—

第5分科会『中国人強制連行』

—その歴史と加害責任—

第6分科会『朝鮮人の抵抗運動』

—侵略を抵抗の視点から—

フィールドワーク

Aコース…尹奉吉義士暗葬跡地・額谷地下軍需工場跡

◆韓国から遺族が来日されて、追悼法要が営まれる予定です。

Bコース…加賀温泉方面(地下海軍病院跡等)

☆Cコースとして、希望者には、8月10日に『兼六園観光と山菜採り』のコースも準備しています。

お願いとご案内

分科会 レポーター募集

各分科会のレポーターを募集しています。発表時間は20分程度です。

①題目 ②発表者(団体名) ③発表希望分科会
を5月末までに事務局にお知らせ下さい。

賛同団体・個人募集

この集会に賛同される団体・個人を募集しています。
団体賛同金は1口5000円、個人賛同金は1口2000円です。
賛同して頂いた団体・個人は、当日発行の資料集でそのアピール文を紹介します。

各地からの報告募集

8月8日に、各地の団体・個人の取り組みをお話して下さい。
要点をまとめて簡潔にお話いただくために、発表を希望する団体・個人は、発表内容を原稿用紙2～3枚にまとめて事務局までお送り下さい。
発表は5分をめどとしていますが、どうしてもその時間を越えそうな場合は、事前に事務局までご連絡下さい。

なおここでは、なるべく多くの個人・団体の取り組みを紹介して交流を深めたいので、緊急動議の審議などはいっさい行ないません。

参加費

3000円(資料代を含む。学生は2000円)

6月末日までに、同封の申し込み用紙に必要事項をお書きの上、郵便振替でお支払い下さい。なお、領収書は、当日お渡しします。念のため郵便振替の受領証をお持ち下さい。

宿泊

①テルメ金沢(担当:鈴木さん) 定員119名
同封のパンフレットを参照の上、5月1日～5月31日の間に各自お申し込み下さい。

※二日目のチェックアウト後、日程終了まで駐車場が無料で利用できますので、車の方は便利です。
※会場まではバス等を利用することになります。
※予約の際、全国交流集会と言って下さい。

②会場近くのホテルをご希望の方は、6月末日までに下記宛てお申し込み下さい。

ユニオントラベル石川(担当:上田・中川さん)

〒920 金沢市芳齊2丁目 15-16

電話:076-262-0274 FAX:076-265-6477

参考:シングル8000円・ツイン7500円

(朝食付、税・サービス料込み1人分)

※会場まで徒歩5分以内のビジネスホテル。約180名
※有料駐車場が少しあります。

会場連絡先

石川県教育会館 電話:076-222-1241

〒920-0961 金沢市香林坊1丁目 2-40



事務局連絡先

石川県教職員組合(角三外弘)

〒920-0961 金沢市香林坊1丁目 2-40

石川県教育会館内 電話:076-263-2368

ファックス:076-222-0217

よびかけ

1870年代からの日本によるアジア・太平洋地域への侵略が始まって120年以上、そして1945年の敗戦から50年以上が経ちました。

この間の日本の戦争・戦後責任を明確にし新しいアジアとの共生を考えようとする運動は、数多くの市民団体・個人の力によって大きくなりつつあります。一方で、残念ながら植民地支配の事実を無視することによって、「過去の克服」を回避し、運動の広がりを骨抜きにしようとする動きも強まっています。そればかりか『極東有事立法』の法制化が進められ、隣人との間に新たな敵対関係を作ろうとする企てが現実化されようとさえしています。

このような状況の中で、9回目を迎える『朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える全国交流集会』が、金沢市で開かれることになりました。

石川県は、古代より朝鮮半島との往来が盛んで、日本海（東海）対岸の大陸・朝鮮半島と豊かな共存関係にありました。能登半島には今も各地に朝鮮文化の跡が残っています。

しかし近代以降は、一方的な侵略の歴史でした。「軍都」金沢に本部を置いた第9師団は、1932年の第1次上海事変や1937年の第2次上海事変（南京大虐殺）などの中国侵略の主力部隊として派遣されました。

七尾港には中国人が強制連行され、多くの死者・病人を出しました。そして県内各地には、朝鮮人労働者が働かされた銅山や空港、地下軍需施設跡が数多く残っています。

また金沢は、朝鮮民族の独立運動に身を挺した尹奉吉義士が銃殺された地で、その暗葬地跡が整備保存されています。

私たち石川実行委員会は、県内あらゆる地域で、地道な歴史の掘り起こしをとおして、アジアの人達と新しく豊かな関係を創り出したいと願っています。

全国で朝鮮人・中国人強制連行・強制労働の調査と研究に取り組んでいる皆さん、今までの『全国交流集会』で積み重ねられたきた取り組みをさらに深めて、運動の輪を大きく広げていきましょう。

1998年夏、金沢でぜひお会いしましょう。
第9回 朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える
全国交流集会 石川実行委員会

호소문

1870년대부터 일본에 의한 아시아 태평양 지역 침략이 시작된지 120년 이상, 그리고 1945년의 패전후 50년이 지났습니다.
그동안 일본의 전쟁, 전후 책임을 명확히 하고 새로운 아시아와의 공생을 생각하려는 운동은 많은 시민단체, 개인의 노력으로 확대되어가고 있습니다.
한편, 식민지 지배의 사실을 무시함으로써 「과거의 극복」을 회피하고 시민 운동을 없애려는 움직임도 감합니다. 그 뿐만 아니라 <극동 유사 법>의 법제화가 진행이 되어, 이웃 사람들과의 새로운 적대관계를 만들려는 획책이 현실화 되어 가고 있습니다.
이런 상황 속에서 9번째를 맞이하는<조선인, 중국인 강제연행, 강제노동을 생각하는 전국 집회>가 여기 가나자와시에서 열리게 되었습니다.
이시카와현은 고대부터 조선 반도와외 왕래가 성행하고 건너편 대륙이나 조선 반도와 풍요로운 공존 관계에 있었습니다. 노토 만도에는 지금도 각지에 조선 문화의 흔적이 남아 있습니다.
그러나 근대 이후는 일방적인 침략의 역사였습니다. 「군사도시」가나자와에 본부를 둔 제9사단은 1932년의 제1차 상해 사변과 1937년의 제2차 상해 사변 (남경대학살) 등 중국 침략의 주력 부대로 파견되었습니다.
나나오항에는 중국인이 강제연행되어 많은 사람들이 죽고 병이 났습니다.
그리고 현내 각지에는 조선인 노동자가 강제노동 당한 광산이나 공항, 지하 군수시설 자리가 많이 남아 있습니다.
또한 가나자와는 조선 민족 독립 운동에 몸을 바친 윤봉길의사가 총살을 당한 땅이고, 그 암장터가 정비 보존되어 있습니다.
우리들 이시카와 실행위원회는 현내 모든 지역에서 착실한 역사의 발길을 통해서 아시아 사람들과 새롭고 풍요로운 관계를 만들어 가고자 합니다.
전국에서 조선인, 중국인 강제 연행, 강제노동의 조사와 연구에 힘을 기울이고 있는 여러분, 이제까지의<전국 교류 집회>에서 쌓아 올린 노력을 더욱 충실화 시키고 운동을 더욱 넓혀 갑시다.
1998년 여름에 가나자와에서 만남시다.
제9회 전국 교류 집회 이시카와 실행위원회

呼吁参加第九届思考朝鮮人 中国人被强制押送和强制労働의 全国交流集会
--

从在一八七〇年代后半日本向亚洲、太平洋地域发动侵略以来，光阴经过了百二十年以上，从在一九四五年日本政府签署投降书以来，经过了五十年以上。

現在，追究日本的战争和战后责任而志向同亞洲人民共生运动，由于多的市民团体和個人的努力，正在发展。别一方面，很遗憾，一部分人无视植民地支配的事实，回避“过去之克服”，正在挡住这个运动的扩大。岂但那样，他们推动“极东有事立法”法制化，正在策划与邻人作对关系的现实化。

这样情況下，第九屆次全国交流集会在金泽市举行。石川县地域在古代同朝鮮半島频频交流、也同日本海对岸地域和朝鮮半島的人民共存了。在能登半島各地，朝鮮文化的痕跡是现存的。

但是于近代以降石川县史是侵略史。第九師団在金泽设置本部，于一九三二年“第一次上海事变”以及一九三七年“第二次上海事变”“南京大屠杀”，是主力部队。在七尾港，中国人被强制押送和强制劳动，多的中国人去世了，而也病了。在县内各地的铜山、空港以及地下军需施設，朝鮮人被强制押送和强制劳动，其遺跡也很多。在金泽，朝鮮民族独立运动义士尹奉吉被抢毙了，现在他的暗葬地跡由市民有志被整備保存。我们实行委员会希望，于县内一切地域，由于踏实的历史研究，新生地县民和亚洲人民一起創造丰富的关系。

我们向在全国各地关于强制押送和强制劳动调查、研究的诸位，呼吁参加此次大会而使此次大会成为进一步促进这个运动。

于一九九八年夏，就在金泽会齐吧！

第九届全国交流集会 石川实行委员会

The Ninth Annual Conference on Korean and Chinese Forced Labourers
Statement:

120 years have passed since Japan's invasion of the Asian Pacific Area. More than 50 years have passed since the end of World War II. A grass roots movement in Japan, which supports acknowledging and claiming responsibility for these wars is growing. However, there are opposition groups that ignore the truth behind Japan's colonialization of Asian countries and continue to promote anti-Asian sentiments. It is within this social and political climate that The 9th Annual Conference on Korean and Chinese Forced Labourers will be held in Kanazawa City, Ishikawa Prefecture in the summer of 1998.

Prior to the Meiji era (1868-1912) the people of Ishikawa had maintained a rich cultural relationship with Korea. Evidence of this relationship can still be found on Noto Peninsula, the northern part of Ishikawa. From the close of the Meiji Era, the climate changed in Asia to one of hostility, with the invasion of Korea and China, lead by the 9th Army of Kanazawa.

As a result, many Chinese and Koreans were forced to come to Nanao, a harbour city on Noto Peninsula, and then work in labour camps all over Ishikawa. Many were killed and injured working in bronze mines, in under ground factories, and in the construction of airports. These too, can still be found in Ishikawa. Yun Bongil was a well-known Korean political activist fighting for Korea's independence during Japan's colonialization period. Bongil was executed in Kanazawa. Today a monument stands in his memory.

The Conference members wish to develop a renewed relationship with our Asian neighbours through honest dialogue regarding the past. We who concern ourselves with the history of Korean and Chinese forced labourers, let's deepen our knowledge and continue to foster and spread that understanding throughout Japan.

We hope to see you in the summer of 1998.